

白神の絆

林野庁 東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成 31 年 2 月 20 日

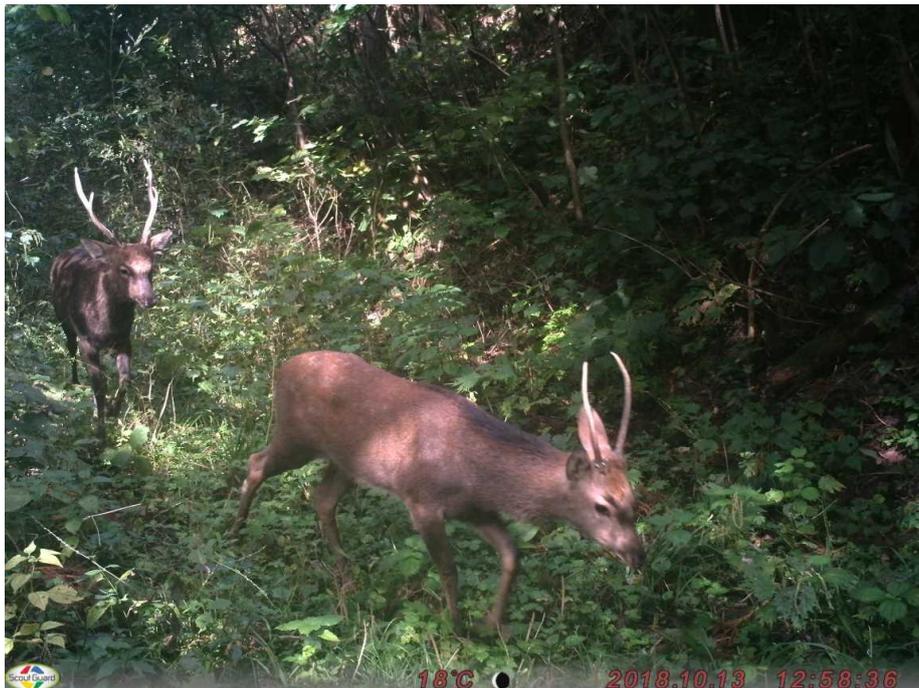
No.152

中・大型哺乳類調査業務の結果について

6月発行の「白神の絆 No.144」でお知らせしましたセンサーカメラによる哺乳類調査につきまして、データがまとまりましたので報告します。

全 32 調査地点から合計 14 種 1,721 個体の哺乳類が撮影されました。最も撮影個体数の多かった種はタヌキの 314 頭で、次いでアナグマ 298 頭、カモシカ 232 頭、ニホンザル 182 頭、ハクビシン 159 頭・・・と続きました。

監視体制を強化中のニホンジカ（写真① 2頭で行動中）は 8 箇所（西目屋村、鱒ヶ沢町、深浦町）から合計 12 頭が撮影され、全てオスのみでした。また、環境省、青森・秋田県、藤里森林生態系保全センター等の各関係機関で設置してあるセンサーカメラでもメス♀は撮影されていませんでした。



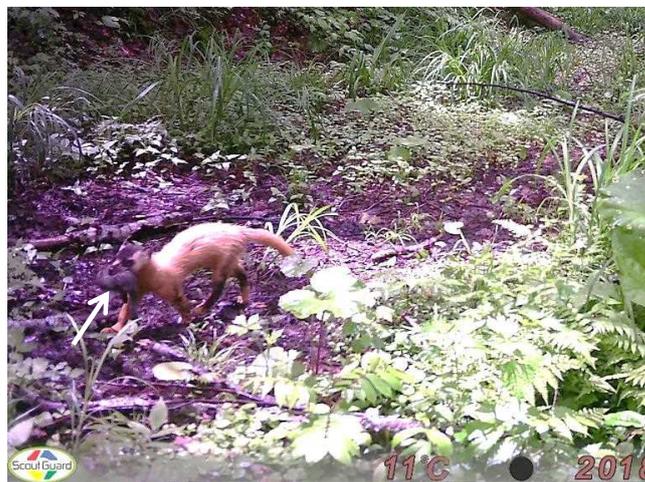
①ニホンジカ若獣♂成獣♂2頭（2018.10.13 深浦町追良瀬）

当センターの撮影数は年々増加傾向にありますが、今のところ白神山地周辺にシカは定着していない模様です。来年度も引き続き各関係機関と協力して、目を光らせていきます。なお、中・大型哺乳類調査の結果報告書を当センターHPへ3月中旬頃に掲載する予定ですので、興味のある方はご覧ください。

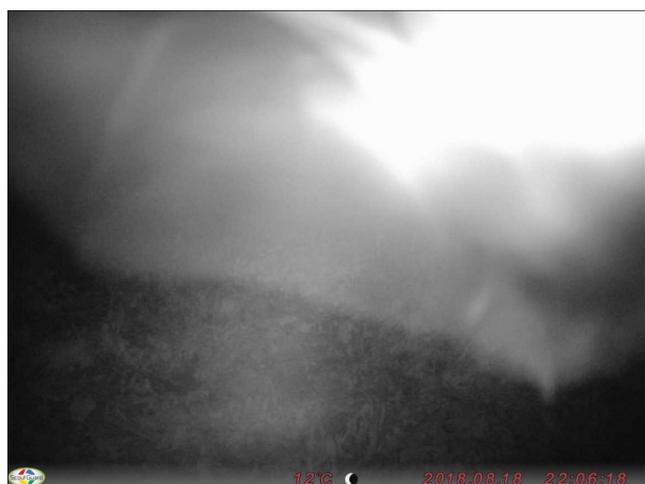
センサーカメラには、去年の広報（「白神の絆 No.147」）でも少し紹介しましたが、他の動物も撮影されましたので、いくつか紹介します。

写真②はテンが写っています。口元をよく見ると何か啜えているのがわかりますか。捕らえたごちそうをどこで食べるのでしょうかねえ～。

皆さん、写真③に写った動物は何でしょう。・・・はい、大正解！飛膜（ひまく）が見えますので『コウモリ』です。私は最初確認したとき分からなくて、同定するのに悩んだ写真の1枚です（種名が分からなかったので不明コウモリです）。



②テン（2018. 6. 13 西目屋村大秋）



③私はなーんだ？

（2018. 8. 18 鱒ヶ沢町一ツ森）



④ツキノワグマ2頭

（2018. 7. 29 鱒ヶ沢町芦菔）

最後に写真④はツキノワグマが2頭写っています。小さくて確認しづらいと思いますが、クマに植物の実がくっついていて、きっと、この実は遠くまで運んでもらい、そのうち地面に落ちて、タネが芽を出すことで生息域を広めているんでしょう。センサーカメラの写真からでも生態系の一つが垣間見ることができます。（葛西）

青森市で親子木工教室を開催します

2月23日（土）、24日（日）の両日「白神山地ビジターセンターがやって来た in 青森市」が昨年に続き、青森県総合社会教育センターにて開催されます。自然環境への関心と理解を深めるもので、白神山地周辺の関係団体等による様々な催しが行われます。

当センターではこのイベントに協賛し、「親子木工教室」を実施します。当日は臨時駐車場も用意されますので、是非会場に足をお運び下さい。

日 時：平成 31 年 2 月 23 日（土）～24 日（日） 午前 9 時～午後 4 時

会 場：青森県総合社会教育センター 3 階 第 1 工作室

青森県青森市荒川字藤戸 119-7 TEL 017-739-1252

〈発行〉津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

